

校長室だより

No. 22

平成29年10月6日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよしかず
加藤嘉一

「去年、子供がお世話になったから」 — 尊い志 —

5年生の家庭科の授業を見に行くと、先生とは違った声で、

「このくらいの長さでいい？」

「きっと背が伸びるから大きめにしとく？」と鏡の前で話す方がいました。教室全体に目を広げていくと、あちらこちらで大人が針を打つ場所や型紙の当て方をアドバイスしています。

「ちゅらぼ」(地域教育ボランティア)に参加してくださっている方々でした。子供の作業に、停滞が見られません。

「ちゅらぼ」で参加してくださっている方々の姿で感心するのが、自分のお子さんではない子供にアドバイスをしている場面を多く見ることです。しかも参加している方の中に、他の学年・学級の保護者の方がいらっしゃいます。

「去年、子供がお世話になったから。」と。

尊いお志です。本当に感謝申し上げます。

「地域の子供は地域で育てる」。この風土のある学区では、まちがいなくその経験が子供の原体験として心に残っていきます。人のあたたかさを知って育ちます。まさにESD(持続可能な開発のための教育)です。「ちゅらぼ」を2年前に立ち上げましたが、以前から「るるの会(読み聞かせ)」「登下校見守り活動」等、子供のためにボランティアをしてくださっている方々がいます。こうしたお一人お一人の姿から、生き方を学ばせていただいています。



【5年生 家庭科の授業より】

全国学力・学習状況調査の資料を子供の指導に生かすために

前号で、全国学力・学習状況調査の結果を引用しました。前号掲載した資料は、クロス集計表(児童質問紙-教科)というもので、児童の質問紙と教科の正答率を結び付けて相関関係を分析しているものです。わたしたちが、今後目指す子供像や指導の重点として考えていくうえで、参考にするためのものといえます。資料は膨大な量になります。ここに載せたのは、92の質問項目に対し正答率に大きな

差があった項目や、わたしが意外に思った項目を掲載します。興味のある方は、以下のところにインターネットを利用しアクセスしてみてください。

国立教育政策研究所HP (TOP> 全国学力・学習状況調査 > 平成29年度 報告書・調査結果資料 > 全国版/小学校 > 4.質問紙調査の結果 (3) 相関係数, クロス集計表 クロス集計表(児童質問紙一教科)全国【表】) をもとに、下表を掲載しました。

授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしていますか	児童数	児童数の割合(%)	平均正答率(%)			
			国語A	国語B	算数A	算数B
1 当てはまる	386,354	38.3	78.1	61.2	82.5	50.2
2 どちらかといえば、当てはまる	449,716	44.6	74.9	57.7	78.6	45.8
3 どちらかといえば、当てはまらない	140,658	13.9	69.4	51.0	72.2	39.4
4 当てはまらない	30,341	3.0	63.6	43.3	65.0	33.1

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか	児童数	児童数の割合(%)	平均正答率(%)			
			国語A	国語B	算数A	算数B
1 4時間以上	93,110	9.2	65.5	46.2	68.2	35.2
2 3時間以上、4時間より少ない	83,065	8.2	69.3	50.6	72.3	38.9
3 2時間以上、3時間より少ない	135,649	13.4	72.1	54.0	75.9	42.3
4 1時間以上、2時間より少ない	245,511	24.3	75.4	57.8	79.5	46.3
5 1時間より少ない	307,331	30.5	78.3	61.8	82.4	50.2
6 全くしない	143,131	14.2	79.5	63.7	83.4	52.6

放課後に何をしておこなうことが多いですか	児童数	児童数の割合(%)	平均正答率(%)			
			国語A	国語B	算数A	算数B
1 家で勉強や読書をしている	616,494	61.1	78.1	61.9	82.1	50.2
2 放課後子供教室や放課後児童クラブ(学童保育)に参加している	62,361	6.2	70.0	51.6	73.4	40.9
3 地域の活動に参加している(学校支援地域本部や地域住民等による学習・体験プログラムを含む)	33,076	3.3	66.9	48.1	70.0	37.5
4 学習塾など学校や家以外の場所で勉強している	302,097	29.9	78.2	61.8	83.3	51.5
5 習い事(スポーツに関する習い事を除く)をしている	429,816	42.6	77.9	61.1	82.1	49.5
6 スポーツ(スポーツに関する習い事を含む)をしている	455,128	45.1	75.7	57.9	80.4	47.2
7 家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている	730,142	72.4	74.5	57.1	78.2	45.5
8 家族と過ごしている	622,765	61.7	75.3	58.2	79.0	46.5
9 友達と遊んでいる	718,168	71.2	74.2	56.5	77.8	44.7
10 その他(選択肢以外の回答)	3,357	0.3	-	-	-	-

今回は、学校以外の場面におけるものが中心です。わたしが特に注目した点は、授業で学んだことを生かそうとする子供の正答率の高さです。2番目の表からは、ゲームをする時間が少ないほど正答率が高いことが鮮明になっていました。メールやインターネットをする時間も同様の結果です。ここには掲載しませんが、きまりを守っている意識の高い子たちほど正答率も高かったです。また、3番目の表から、放課後に何をしておこなうかでは正答率に影響は少ないとわたしは分析しました。(2, 3番を回答した子供以外の90.5%は、過ごし方による正答率の差が約5ポイント以内です。過ごし方より学んだことを生かそうという子供の意識が大切と感じます) このほか授業の取り組み方や読書にかかわる調査等、機会を見つけ紹介します。



本表の正答率の数値は、全国学力・学習状況調査を受けた全児童(約101万人)の結果です。国語A・算数Aは、知識に関する問題、国語B・算数Bは、活用に関する問題の正答率です。
(資料引用) <http://www.nier.go.jp/17chousakekkahoukoku/factsheet/17primary/>